

健康教室の歴史

教室の歴史

糖尿病外来新設 岡山大学病院第3内科より平川秀三医師が着任。真庭の糖尿病患者の増加に伴い糖尿病外来が新設されました。外来新設に伴い糖尿病教室を開催。当初は週1回～月に1回、医師・栄養士による講話が中心でした。

第1回「1日糖尿病教室」開催

試行錯誤の末「1日糖尿病教室」として年1回日曜日に開催するようになりました。初回は講演やバイキング形式の食事を通じて糖尿病の理解を深めました。

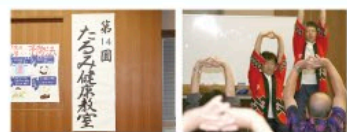


医師・栄養士・薬剤師による講話が中心でした。

寸劇・コント・体験談・実際に使用中の茶碗を持参しての食事など、年に1回毎年開催。

第14回「たるみ健康教室」

多くの方に参加していただけるよう、教室の名称を「たるみ健康教室」へ変更。



参加型の講演など様々な企画を考えながら毎年開催しています。

第19回「たるみ健康教室」



医師の講演

薬剤師によるお薬相談

体験コーナー

歯科医師による歯周病の話

教室を運営するスタッフも増えました。様々な職種のスタッフが患者皆さまの生活を支えています。

年号(平成) 糖尿病治療の歴史

7年 **ペン型インスリン注入器発売**
大正10年 インスリン治療開始。ペン型が発売されるまで小さな専用の瓶から注射器で吸い上げて使用。その後、研究が進み様々な種類のインスリンが開発されました。



インスリン治療が始まって100年。



皆さまのライフスタイルに合わせた治療選択ができるようになりました。

9年

22年

27年

祝☆ANNIVERSARY 第20回 1日たるみ健康教室

検査

あぁ～！認知症検査ドキドキする～

痛くないよ！器械が変わった？

歯も血糖と関係するんだ～

お薬

先生に薬について質問！

泡でやさしく洗ってね♡

ナイロンタオルで洗うのをやめなっちゃ！

ゴシゴシ洗いはかゆみの原因！

くつの選び方

どんな形のかつを履いていますか？

どんなことに困りですか？

運動

自分に合った運動方法を教えてもらいました

食事

間食は1日これくらい食べるあ～♡♡

おしながき
◆真庭産雑穀入り新米コシヒカリ
◆河野味噌使用
◆カレイの西京焼き
◆湯原オーストリッチ
◆フアームの平飼卵
◆天然だし使用
◆季節野菜の煮物
◆和え物
◆落合産里芋の煮ころがし
◆落合産ラディッシュの漬物
その他全12品

特別講演会

馬術を始めたきっかけは？
A 初めから馬術に興味があったわけではなく、有名な馬術の先生にお会いしたことがきっかけでした。

オリンピック出場の感想
A 夢のような時間でした。今も手がびびっていますが、手の怪我を乗り越えたからこそ、ここまで頑張れたのだと思っています。

TOPICS 3

火災発生！訓練です

昨年11月15日(火)真庭市消防団落合方面隊第1分団第6部の皆様と合同で夜間の総合防火訓練を行いました。今回は、3階層センター(透析室)からの出火という想定で、初期消火通報、連絡、避難、誘導、放水といった実際の火災に際した訓練を行いました。また合わせて、透析中の患者様の避難を想定した、透析の緊急離脱の訓練も行いました。

毎年、出火場所を変えて多様な想定で訓練を行っています。新たな課題が見つかります。起こってはならない火災ですが、想定外の事態に備え、訓練を続けて行きたいと思えます。夜間の訓練で、入院患者様や地域の皆様にはご迷惑をおかけしました。ご協力ありがとうございました。



TOPICS 2

いつか来る大災害に備えて

災害拠点病院に指定されている県内10病院の医療従事者による岡山県災害拠点病院医療救護要員研修会が昨年10月2日(日)、岡山医療センターで開催されました。この研修会は、各災害拠点病院が毎年持ち回りで開催しており、消防や行政機関も参加して、災害時の対応や連携の強化などについての研修を行っています。

初めに、特別講演として兵庫県災害医療センターの中山伸一センター長が「阪神・淡路大震災以降のわが国の災害医療対応の進歩と課題」と題して講演されました。その後、災害現場の救護所を想定し、実際のテントを設置して、多数の負傷者に対応するための治療の優先度を定めるトリアージや、救急車での病院搬送順位の決定、災害対策本部との連絡・調整など、一連の救護所運営の実技を行いました。



落合病院 TOPICS 1

2年間の研究成果を発表！



第27回目となる院内看護研究発表会が昨年11月17日(木)、記念ホールで開催されました。今年の発表は、療養病棟より「マウスケアの手順書を用いた技術統一をしてみよう」、2階病棟より「患者に合ったおしめ選択・交換をするためにおしめ選択基準表を作成してみよう」、外来より「1ヶ月健診問診票と健診までの流れを変えての効果」の3席でした。発表の後にはそれぞれ活発な質疑応答が行われ、助言者としてお迎えした新見公立大学看護学科教授の杉本幸枝先生より講評をいただきました。

当院の看護研究は2年間にわたって取り組みます。どの研究発表も日頃の看護ケアに役立つ内容で、研究を通して得られた知識を看護実践に活かす、看護の質の向上を図って行きたいと思えます。

新年ごあいさつ

あけましておめでとうございませう。

旧年中は皆様方にご高配を賜り、誠にありがとうございました。初代理事長、井口與志子が落合病院を開院したのが昭和12年のことです。本年で80年目を迎えることになりましたが、この間歴代の理事長が一貫して努力し目指してきた事は、地域の皆様の誰からも愛され親しまれる組織をつくり、地域に貢献することです。今まで長期にわたり私たちが医業を継続して営んでこられたのも、皆さまからの「ご理解」「ご支援」により育っていただいた賜物であろうと思えます。皆様方には大変に感謝しております。

昨今の我々を取り巻く社会環境は著しく変化しております。中でも医療・介護・福祉をはじめ、社会保障に関わる環境は目まぐるしく変化し、皆様方においても行政や医療者側においても大変に厳しいものとなっております。私たちは落合病院、向陽台病院を中核とし、さまざまな施設を有しております。これらの医療資源を最大限に活用して先代からの志を引き継ぎ、地域の方々の健康を守るお手伝いをし、地域の方々から親しまれ、役に立てるように努力してまいります。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

本年が皆様方にとりまして良い年、平穏な年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

平成29年1月1日
医療法人社団井口会理事長 総合病院落合病院 院長 井口 大助

